

# 宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

## 宮崎県第47週の発生動向

### 全数報告の感染症 (47週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：結核2例。3類感染症：報告なし。
- 4類感染症：つつが虫病4例、日本紅斑熱1例。5類感染症：播種性クリプトコックス症1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	40歳代	女	無症状病原体保有者	—
			80歳代	男	肺結核	咳、痰、発熱、呼吸困難
4類	つつが虫病	宮崎市	60歳代	男	—	頭痛、刺し口、発疹
		都城	0~4歳	男	—	発熱、刺し口、発疹等
		日南	80歳代	女	—	発熱、刺し口、発疹、肺炎、肝障害、腎障害
		日向	80歳代	男	—	発熱、刺し口、発疹
	日本紅斑熱	都城	50歳代	男	—	発熱、刺し口、発疹
5類	播種性クリプトコックス症	宮崎市	70歳代	女	—	発熱

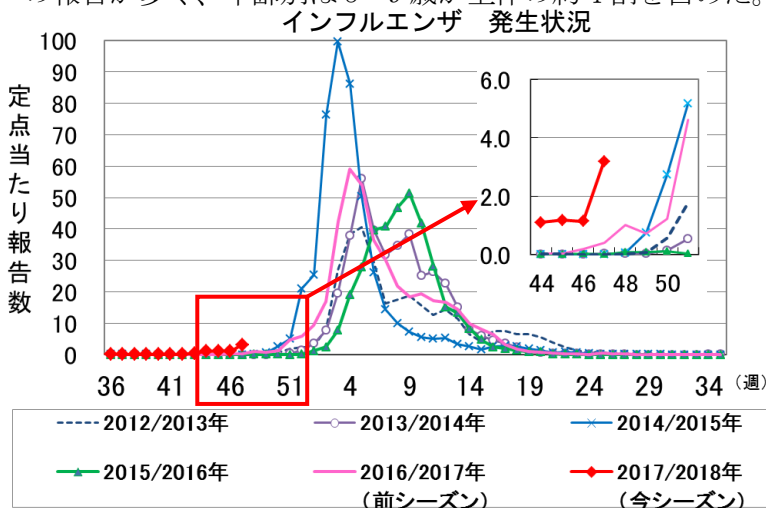
### 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は820人(定点当たり21.8)で、前週比101%とほぼ横ばいであった。なお、前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザとA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患は咽頭結膜熱とヘルパンギーナである。

#### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

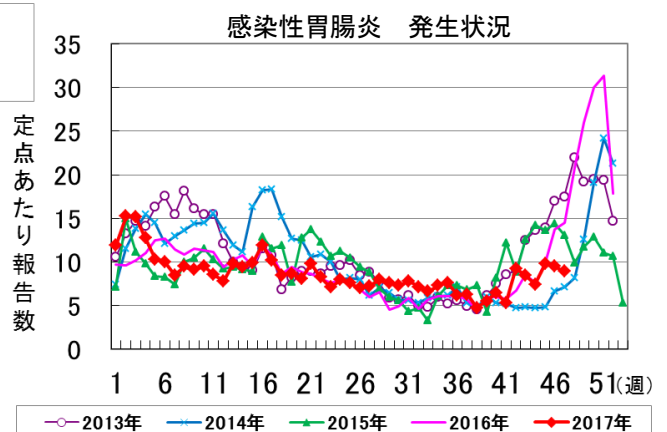
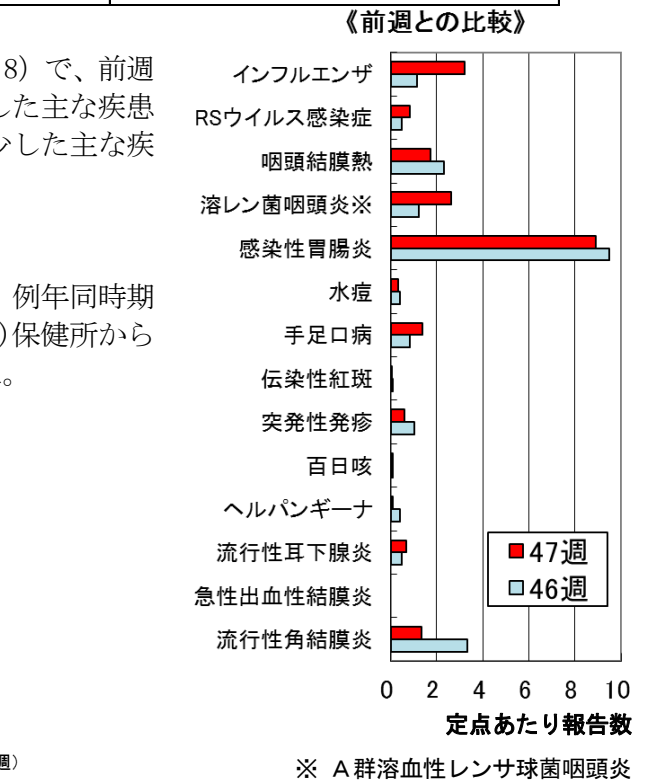
##### 【インフルエンザ】

報告数は189人(3.2)で、前週比278%と増加しており、例年同時期の定点当たり平均値\*(0.13)の約25倍である。日南(21.4)保健所からの報告が多く、年齢別は5~9歳が全体の約4割を占めた。



##### 【感染性胃腸炎】

報告数は321人(8.9)で、前週比94%と減少し、例年同時期の定点当たり平均値\*(16.9)の約0.5倍である。都城(13.2)、延岡(10.8)、小林(10.7)保健所からの報告が多く、年齢別は1~3歳が全体の約半数を占めた。

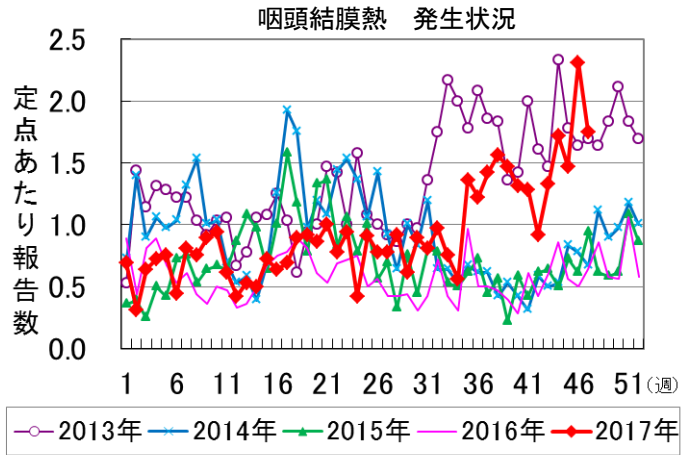


【咽頭結膜熱】

報告数は63人(1.8)で、前週比76%と減少したが、例年同時期の定点あたり平均値\*(1.1)の約1.6倍である。中央(8.0)、小林(4.7)、都城(3.2)保健所からの報告が多く、年齢別は1~3歳が全体の約半数を占めた。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

★基幹定点からの報告★  
報告なし。



★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	咽頭結膜熱(3.2)
延岡	なし
日南	インフルエンザ(21.4)、流行性耳下腺炎(4.0)
小林	咽頭結膜熱(4.7)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	咽頭結膜熱(8.0)

\* 流行警報レベル開始基準値 \*  
・咽頭結膜熱(3.0)

\* 流行注意報レベル基準値 \*  
・インフルエンザ(10.0)  
・流行性耳下腺炎(3.0)

🇯🇵 全国 2017 年第 46 週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (全国第 46 週)

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	355 例				
3類感染症	細菌性赤痢	4 例	腸管出血性大腸菌感染症	29 例	腸チフス	1 例
	E型肝炎	4 例	ジカウイルス感染症	1 例	重症熱性血小板減少症候群	1 例
4類感染症	つつが虫病	29 例	日本紅斑熱	2 例	日本脳炎	1 例
	マラリア	1 例	ライム病	1 例	レジオネラ症	15 例
5類感染症	アメーバ赤痢	14 例	ウイルス性肝炎	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	13 例
	急性脳炎	6 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	9 例
	後天性免疫不全症候群	14 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3 例	侵襲性肺炎球菌感染症	48 例
	水痘(入院例)	5 例	梅毒	62 例	播種性クリプトコックス症	1 例
	破傷風	1 例	風しん	1 例		

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比108%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症と流行性耳下腺炎である。

インフルエンザの報告数は3,799人(0.77)で前週比148%と増加し、例年同時期の定点あたり平均値\*(0.47)の約1.6倍である。沖縄県(4.1)、長崎県(3.3)、宮城県(1.9)からの報告が多く、年齢別では5~9歳が全体の約4割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は15,436人(4.9)で前週比115%と増加したが、例年同時期の定点あたり平均値\*(8.2)の約0.6倍である。愛媛県(11.1)、宮崎県(9.5)、富山県(9.2)からの報告が多く、年齢別では1~4歳が全体の約半数を占めた。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2017年 第47週(11月20日～11月26日)

疾病名		第46週	第47週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	68	189	39	9	6	107	15	6		1	6
	定点あたり	1.15	3.20	2.44	0.90	0.86	21.40	3.00	1.00	0.00	0.17	3.00
RSウイルス 感染症	報告数	18	30	11	4	2	2		8		3	
	定点あたり	0.50	0.83	1.10	0.67	0.50	0.67	0.00	2.00	0.00	0.75	0.00
咽頭結膜熱	報告数	83	63	17	19		3	14	2			8
	定点あたり	2.31	1.75	1.70	3.17	0.00	1.00	4.67	0.50	0.00	0.00	8.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	44	94	33	16	19	3	2	1	1	18	1
	定点あたり	1.22	2.61	3.30	2.67	4.75	1.00	0.67	0.25	1.00	4.50	1.00
感染性胃腸炎	報告数	342	321	76	79	43	31	32	22	5	30	3
	定点あたり	9.50	8.92	7.60	13.17	10.75	10.33	10.67	5.50	5.00	7.50	3.00
水痘	報告数	14	12	3		2			5		2	
	定点あたり	0.39	0.33	0.30	0.00	0.50	0.00	0.00	1.25	0.00	0.50	0.00
手足口病	報告数	30	49	15	12	2		3		3	14	
	定点あたり	0.83	1.36	1.50	2.00	0.50	0.00	1.00	0.00	3.00	3.50	0.00
伝染性紅斑	報告数	3	2			1	1					
	定点あたり	0.08	0.06	0.00	0.00	0.25	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	37	21	4	4	4	3	2	1		2	1
	定点あたり	1.03	0.58	0.40	0.67	1.00	1.00	0.67	0.25	0.00	0.50	1.00
百日咳	報告数	3	4				1				3	
	定点あたり	0.08	0.11	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.75	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	14	3	1	1			1				
	定点あたり	0.39	0.08	0.10	0.17	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	18	24	1	3	3	12				4	1
	定点あたり	0.50	0.67	0.10	0.50	0.75	4.00	0.00	0.00	0.00	1.00	1.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	20	8	4		4						
	定点あたり	3.33	1.33	1.33	0.00	4.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数	2										
	定点あたり	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数  
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2017年第1週～47週)

2類感染症	結核	171例(2)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	17例				
4類感染症	E型肝炎	3例	重症熱性血小板減少症候群	13例	つつが虫病	14例(4)
	日本紅斑熱	8例(1)	レジオネラ症	9例	レプトスピラ症	2例
5類感染症	アメーバ赤痢	3例	ウイルス性肝炎	5例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	11例
	急性脳炎	4例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4例
	後天性免疫不全症候群	10例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例	侵襲性肺炎球菌感染症	14例
	水痘(入院例)	2例	梅毒	16例	播種性クリプトコックス症	1例(1)
	破傷風	5例	麻しん	1例		

( )内は今週届出分、再掲